



特殊金属エクセル 谷口毅CEO

前期の業績から。――前期の業績かした。単体売上高は3%増の68億円、営業利益率は1・1%減、経常利益は0・1%減。分野別の売り上げは、自動車関連は8%増、取と一定の利益を確保

特殊鋼やステンレス、非鉄金属の冷延ブレード、特殊金属エクセル（本社＝東京都豊島区）は半導体関連の需要増を受け、今期（2026年12月期）増収増益を予想する。足元では優れた加工性と高強度を兼ね備えた高機能ステンレス鋼が順調だ。谷口代表取締役兼最高経営責任者（CEO）に経営方針を聞いた。

経営戦略を聞く

両社は7日、業務提携に向けた基本合意書を締結した。九州地区で高まる建設需要を確実に捕捉するとともに、将来にわたる最適生産体制を構築するのが狙い。

中製鋼所は現在、九州向けC形鋼を都城工場（宮崎県都城市）と田布施工場（山口県田布施町）の2拠点から供給している。提携後はサワライズの福岡拠点を加えた3拠点体

OEM生産・在庫拠点活用

点を相互に活用し、デリバリーサービスの向上やコスト競争力の強化につなげる。

ているが、サワライズ
の建屋内にも在庫を保
管し、大分と福岡の2

制とする。サワライズがOEM生産するC形鋼の母材となるコイルは、中山製鋼所が供給する。

角形鋼管は中山製鋼所の大分工場(大分市)が九州地区向けを担っ

鋼材加工センター(型钢、鋼管、非鉄)
3次元レーザー加工
 試作から量産品まで短納期対応
 12Mまで加工可能
麻布成形株式会社
 ISO9001/14001 認証取得
 TEL 047-354-8211
<http://www.az-azabu.com>

神戸製鋼所は19日、社会インフラDXソリューションを提供するセンシンロボティクス（東京都品川区、北村卓也社長）と資本業務提携契約を結んだと発

センシンロボと資本提携

表した。出資額・比率などは非公表。神鋼が進める全社データ分析基盤「Data Lab」と、センシシロボディクスが持つソリューション開発プラットフォームオ

「△「SENSYNCORE」をかけ合わせ、設備保全や自動点検、施工管理など製造現場へのデジタル技術の導入を図り、少人化・高度化対策を進めるのが

保全や自動点検、施工管理などの業務改革までデータの活用ニーズが高い。

神鋼は16年からの中期経営計画で全社データ分析基盤へのデータ

溶接材料 5—7%、
神戸製鋼所は19日、
10月1日需要家納入公
から溶接材料を5—7
%程度値上げすると発

主種値上げ
10月納入分から
表した。対象は全品種
価格改定は2024年
6月分以来となる。
鉄源価格の再上昇

スは、15年設立のデジ
 しているようだ。

神戸製鋼、現場DX加速

しよつとしている。今、製造現にとどまらず、将来を図る方針。

溶接材料 全種値上げ

5—7%、10月納入分から

生成AIを発端と A D関税の暫定措置が 県ときがわ町)、長野工

設備投資、半導体製造装置関連が好調で、電子部品は受注が予想を大幅に上回っている。

「当社は海外メーカーでは対応できない、ニッチな領域を主体としてきたこともあり、能力以上の受注を頂

き、フル操業。埼玉では生産ひっ迫の解消と、製造コスト上昇へ

単体の26年度上期（1—6月）実績は、前年同期比で売上高24%増、受注額は48%増え、浸透を図る」。

の対応として、ボルトネック工程の段階的改造を今夏から実施し、生産性向上に注力す

た。通期は2020、22年度の過去最高収益も視野に入る。海外4社も高い母材を用いた圧延について。「24年から、母材メ後加工の機能を移管し

上高、国内外で大幅増

場投入など差別化が進み、上期の時点で売上高の年度目標を達成した。一方、AI需要の急増でメモリ価格が1カ月前の半額に暴落。AI側の需要も深刻な打撃を受けた。一方、AI需要の急増でメモリ価格が1カ月前の半額に暴落。AI側の需要も深刻な打撃を受けた。

高騰しており、新型ス
マートフォンなどで需
要減の可能性が指摘さ
れており、今後の動向
については、お客さま
の中には値段の多寡に
かわらずリサイクル率
の高さを求めているケ
レ、当社製品の提案
を主体に、ニッチな領
域に照準を定めて取り
組む。すでに現地へ訪
問し、当社製品の提案

に注視が必要だ」

——政府による中国・台湾製ニッケル系ステンレス冷延鋼板への

「スも多い」

——製造拠点の状況を。

「埼玉事業所（埼玉

活動を進めている。日本で製造し、輸出する形で対応しており、現時点で拠点を進出は考え

上期売上高、国内外で大幅増

ルネック工程解消へ

「高強度・高延性ステンレス鋼『JINシリーズ』は堅調だ。汎用ステンレス鋼に対する耐久性へのニーズは高く、板厚充や他の鋼種への対応など多彩な製品群へと進化させる。高延性はね材『TOKKIN301JIN』は採用が拡大している。このほど、金属疲労における優れた耐久性を確認した。高温高温環境下で繰り返し曲げる疲労試験を実施したところ、1億回を超えて負荷に耐えること

ルム化する。またクリーン電力の有効活用を企図し、埼玉事業所の太陽光発電電力を全量自家消費するための工事に着手する。止まらない工場づくりにより、予備品管理を強化していたことから、昨今の資材不足を回避。引き続き取り組みを進める。経営状況の『見える化』に向けたデジタル投資を含め、合計で約2億円を投じる」

——情報発信について

「ウェブマーケティング

日刊産業新聞 26.8.20

より石油由来の副資
価格が上昇、各種合
原料における需給逼
や為替変動が影響し
調達費が増加してい
る。さらに、サプラ

「銅
破」。本紙
れた記
指標と
は200
のトン

さみ海外相場が暴落
ことを受け一気にな
ばした▼あれから
一息ついている間
た。ロンドン金置
物が公式価格の上

「とが分かった」
——設備投資は。
「今期は酷暑対応と以前から進める『止まらない工場づくり』に向けた設備の定期メンテナンスや部品の予備品手配を継続する。酷暑への対応として圧延、スリットなどの工程で今夏までにエアコンの拡充を進めた。品質向上と酷暑への対応

ング強化の一環として、簡体字と繁体字のウェブサイトを開設した。中国・台湾では現地企業との取引を中心としているが、これをさらに広げたい。すでに簡体字・繁体字サイトを經由した商談が複数進んでいる。本社と海外拠点で連携して新規の開拓を進める」

(北村 康平)

初めて1万4500国内の建値も12万42万円と高値異などを手がかり前の好決算。41営業増益だったの社が通期の利益目が26年に幕を開け手放しでは喜べない原料問屋などは通実需筋の銅離れになる。水面下では脂などへ素材の代

金属春秋

破」。本紙
れた記事
指標とな
は202